

## 平成 30 年度東北インターンシップ推進コミュニティ 活動報告

### 1 連携大学におけるインターンシップ実施状況

#### (1) 参加学生数 (※1 ※2)

岩手県立大学 (含大学院)	84 名	(84 名)
岩手県立大学盛岡短期大学部	19 名	(19 名)
岩手県立大学宮古短期大学部	39 名	(19 名)
岩手大学 (含大学院)	266 名	(103 名)
盛岡大学	66 名	(58 名)
尚綱学院大学	87 名	(0 名)
山形大学	266 名	(6 名)
会津大学	7 名	(0 名)
桜の聖母短期大学	29 名	(0 名)
合計	863 名	(289 名)

※1 大学が企画・運営する教育的インターンシップに参加した者の人数

※2 括弧内はポータルサイト「インターンシップ in 東北」を通じて参加した者の人数

#### (2) ポータルサイト「インターンシップ in 東北」で共有、募集された事業所数 (※3)

岩手県内連携大学	204 事業所	(※4)
尚綱学院大学	5 事業所	
山形大学	136 事業所	
会津大学	6 事業所	
桜の聖母短期大学	16 事業所	
合計	367 事業所	

※3 大学が開拓し、当サイトに掲載されたインターンシップ受入れ事業所の件数

※4 岩手県内連携大学には、岩手県立大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、岩手県立大学宮古短期大学部、岩手大学、盛岡大学を含み、204 事業所の情報を共有し募集した

### 2 インターンシップ相互乗り入れ実施状況

所属大学	インターンシップ運営大学	
	岩手県内連携大学	山形大学
岩手県立大学		1 名
山形大学	6 名	
合計		7 名

### 3 インターンシップ専門人材育成研修会の実施状況

「産学協働インターンシップフォーラム」を実施した。

#### (1) 実施の目的

- ・ 企業と学生の早期からの相互理解、学生のキャリア意識の早期醸成のために、低学年向けのインターンシップの様々な事例から、教育・地域にとって効果的な実施方法を考える。
- ・ 主に東北地域の大学等向けにインターンシップ登録・表彰制度を周知し参画を促す。
- ・ 産学協働の教育的インターンシップ野事例を共有し、産業界への啓発、理解を促す。

#### (2) 開催日時

平成 31 年 2 月 27 日 13 : 30 ~ 16 : 30

#### (3) 会場

岩手県民情報交流センター アイーナ 804B 研修室

#### (4) 主催

主催 東北インターンシップ推進コミュニティ

協力 東北経済産業局

#### (5) 参加者

大学教職員 30 名 支援団体等 5 名 合計 35 名

#### (6) プログラム

- ・ 「文部科学省 インターンシップ推進のための取組について」  
文部科学省 高等教育局 専門教育課 中湖 博則
- ・ 「山形大学 低学年インターンシップの事例」  
山形大学 小白川キャンパス キャリアサポートセンター 准教授 松坂 暢浩
- ・ 「復興・創生インターン実施の事例」  
一般社団法人 ワカツク 代表理事 渡辺 一馬
- ・ 「経済同友会インターンシップのプログラム実施の事例」  
岩手県立大学 高等教育推進センター 准教授 高瀬 和実
- ・ 「パネルディスカッション なぜ早期からのキャリア意識醸成が必要なのか」

研修会の様子：



#### 4 会議の開催状況

- 平成 30 年度第 1 回運営会議

日 時： 平成 30 年 11 月 29 日(木)

会 場： TKP ガーデンシティプレミアム仙台西口 カンファレンスルーム 8I

出席者： 岩手県立大学、岩手県立大学宮古短期大学部、岩手大学、盛岡大学、尚  
綱学院大学、山形大学、会津大学、東北経済産業局、東北経済連合会、一  
般社団法人ワカツク

- 平成 30 年度第 2 回運営会議

日 時： 平成 31 年 3 月 14 日(木)

会 場： 岩手県立大学 アイーナキャンパス 学習室 1

出席者： 岩手県立大学、岩手県立大学宮古短期大学部、岩手大学、盛岡大学、山  
形大学、会津大学、桜の聖母短期大学

- 平成 30 年度第 1 回地域会議

日 時： 平成 31 年 3 月 14 日(木)

会 場： 岩手県立大学 アイーナキャンパス 学習室 1

出席者： 岩手県立大学、岩手県立大学宮古短期大学部、岩手大学、盛岡大学、岩  
手県、盛岡市、滝沢市、株式会社岩手ホテルアンドリゾート、岩手県中小  
企業団体中央会、ジョブカフェいわて、ふるさといわて定住財団